

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (北海道)		-	-
		商店街（代表者）	・3月後半から国内流通が始まるため、景気はやや良くなる。
		百貨店（営業販促担当）	・消費税増税の影響が薄れ、徐々に回復してくる。期間限定の催事関係は既に回復してきているため、今後は衣料品、雑貨にも広がってくるようになる。ただ、客の節約志向は今後も引きずることになる。
		家電量販店（経営者）	・東京オリンピックを前にして、テレビ関連の買換え需要が今後も期待できる。また、キャッシュレス・消費者還元事業の終了を前にした駆け込み需要による後押しも期待できる。
		乗用車販売店（経営者）	・各メーカーが新型車の発売を控えているため、相乗効果で売上が伸びることを期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・2月になると、春先需要の動向も見えてくるようになる。そのタイミングで新型車の発売もされるため、今後は来場客も間違いなく増えることになる。ただ、例年と比較してどうなるか、ふたを開けてみないと分からない面もある。
		乗用車販売店（従業員）	・サポカー補助金を盛り込んだ補正予算案が可決されたことから、今後、安全運転サポート車に興味のあった客が動き出すことになる。
		住宅販売会社（経営者）	・東京オリンピックに向けて徐々にムードが盛り上がることになり、個人消費や建築などにおいても需要が盛り上がっていくことが期待できる。
		商店街（代表者）	・2～3か月後は進学、就職の時期となるが、当地の最近の状況として、来街者数に目立った変動がないことから、ふだんの月と同様の来街状況となることが見込まれる。そのため、売上がアップする要因が見当たらない。
		スーパー（店長）	・現在の客の節約志向は今後も変わらない。ただし、2月頃から新生活や卒業、入学に関連した需要が生じるほか、雪解けが進むことで、客が必需品を購入する頻度は高くなる。
		スーパー（店長）	・景気が変動するような要因がないため、今後も景気は変わらない。
		スーパー（企画担当）	・東京オリンピックの恩恵が地方まで届くとは考えられない。1964年の東京オリンピックの際は、日本全体が戦後復興ムードに同調して、一丸となって盛り上がったが、多様化の進んでいる今日では、自分自身の生活がより大切であり、個人の生活防衛意識が強いまま推移する。
		スーパー（企画担当）	・酒類、雑貨など、一部の商品においては消費税増税の影響が目に見えて残っている。また、軽減税率対象の食品においても、無駄買いをしない、財布のひもが固いといった客の消費行動がまだにうかがえる。一方、新型コロナウイルスの影響については、マスクが前年比3倍以上の勢いで売れている状況にあるが、今後の消費にどのような影響を与えるのかが不透明である。
		スーパー（役員）	・キャッシュレス・消費者還元事業の続く6月までは、大手企業におけるポイント還元、値引きといった動きが続くとみられるが、販促には経費の増加が伴うため、7月以降は経費増加に対する見方が厳しくなることが見込まれる。また、新型コロナウイルスの影響で観光客が相当減少していることから、今後、様々なところで経済的な影響が出てくることが懸念される。
		コンビニ（エリア担当）	・キャッシュレス・消費者還元事業の影響で客単価が上昇しているが、1月以降、伸びが鈍化してきている。
		コンビニ（エリア担当）	・キャッシュレス・消費者還元事業の効果が継続するとみられるが、更に良くなることは考えられない。また、キャッシュレス・消費者還元事業は6月末までの予定となっているため、その後の景気対策が効果的に行わなければ景気は悪くなる。
		コンビニ（店長）	・東京オリンピックでのたばこ対策の動きや時代の流れを踏まえて、店頭の灰皿撤去の要請があり、灰皿を撤去したが、撤去後から来客数が6%ダウンしており、今後に向けて来客数が回復する要因が見当たらない。
		衣料品専門店（店長）	・客の様子が3か月前と全く変わらないため、今後も景気は変わらない。
		家電量販店（店員）	・気温がもっと下がってくれば、今後の暖房機関係の販売に期待が持てる。

乗用車販売店（経営者）	・一昨年、前年と主力車種の商品強化が続いたが、その反動で1月の新車受注が前年を下回った。この傾向は次の商品強化が予定されている春頃まで続く。
乗用車販売店（従業員）	・春先需要の生じる季節となり、市場の動きが少しは変わることを期待しているものの、景気が良くなるような気配もない。
乗用車販売店（従業員）	・例年と比べて客の動きが鈍いため、2～3か月先の景気が良くなるような要因が見当たらない。
自動車備品販売店（店長）	・政治や経済のニュースをみても、景気が良くなるような兆しがかげないため、今後も変化のない状況が続く。消耗品、必需品以外の購入が減少することが見込まれる。
旅行代理店（従業員）	・来客数に変化がみられない。
タクシー運転手	・外国人観光客の問合せや予約状況が例年並みであるほか、イベント関係の問合せが多少入ってきているものの、国内客の減少傾向がうかがえるため、全体としては変わらないまま推移する。
通信会社（企画担当）	・例年どおりの春商戦となることが見込まれる。
観光名所（職員）	・来客数は前年と横ばいでの推移となっているが、前年は北海道胆振東部地震の影響で来客数が落ち込んでいたことから、景気が上向きとはいえない状況にある。今後、春節を迎えて、外国人観光客を中心とした来場者の動向がどうなるかを注視している。
美容室（経営者）	・客の来店周期、技術売上、関連商材の売上などが安定しているため、今後も同じような状況が継続する。
美容室（経営者）	・技術売上、店販売上共、3か月前とほぼ変わっておらず、今後も大きく変わるような要素が見当たらない。
商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が段々と大きくなってきており、それに伴って買物も少なくなってきている。今後、中国の景気が悪くなることも懸念されるため、先行きの数字が良くなることは考えられない。
一般小売店〔酒〕（経営者）	・消費税増税のあった前年10月以降、売上が苦戦しており、今後、数か月はこのような状況が続く。
百貨店（売場主任）	・今後については、新型コロナウイルスの影響で、これまで好調であった中国人観光客の来店減、売上減が懸念される。また、日本人にも感染が広まっていることが、新聞、テレビで大きく取り上げられており、日本人客の来店減、売上減の兆候も出てきている。新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのかが不透明なため、先行きに不安がある。
百貨店（販売促進担当）	・新型コロナウイルスの影響で中国からの観光客が減少している。この状況がいつまで続くかは分からないが、すぐには収束しないとみられるため、影響が拡大することが懸念される。
百貨店（役員）	・1月は天候に恵まれたこともあり、売上が良かったが、今後、例年と同様の天候に戻ると、以前のペースに戻るとみられるため、景気はやや悪くなる。
スーパー（店長）	・景気が良くなるような要素が少ないため、今後も変わらないまま推移する。
スーパー（役員）	・灯油価格、ガソリン価格が値上がりしているため、春になるまで、客の財布のひもが固いまま推移する。
その他専門店〔医薬品〕（経営者）	・このまま新型コロナウイルスの不安が続くと、景気は良くない方向に進むことになる。
その他専門店〔造花〕（店長）	・し好品の買い控えや購入量を抑える動きがみられるため、今後の景気はやや悪くなる。
高級レストラン（スタッフ）	・新型コロナウイルスの影響で、中国政府が団体旅行を禁止したことを受けて、冬の恒例イベントに影響が出ることが懸念され、今後の景気が落ち込むことになる。また、これまで中国人観光客を数多く受け入れていたホテルが客室価格を下げ始めており、宿泊料金の値下げ競争が始まっている。
高級レストラン（スタッフ）	・今後については、新型コロナウイルスの影響が生じるとみられる。どの程度の影響が出てくるのか、予断を許さない状況にある。
旅行代理店（従業員）	・暖冬で雪が少なく、冬観光到来の気分が薄れているなか、新型コロナウイルスの影響で中国人観光客の減少が見込まれることに加え、国内客や中国以外の国からの観光旅行そのものが控えられることも懸念される。
旅行代理店（従業員）	・中国での新型コロナウイルスの影響により、北海道への外国人観光客の入込が減ることになる。今後、風評被害で旅行需要が減る可能性もあり、非常に危機感がある。

	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で、客が様子見している状況となっており、今後の景気はやや悪くなる。
	旅行代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響が懸念される。その動向によっては、3月の年度末決算にも影響を及ぼしかねない。
	タクシー運転手	・2月に本運賃の改定を控えており、今後の需要の落ち込みが懸念される。23年ぶりの値上げとなるため、今後の予測が付かない状況にある。
	タクシー運転手	・今年は暖冬の影響で、当業界はとてつもない状況にある。3か月後も今の状況が続くことが見込まれ、非常に厳しい状況になると危惧している。
	タクシー運転手	・2月に運賃改定が行われることになるため、客の利用頻度が低下することが見込まれる。乗務員の待遇改善が値上げの主たる目的であるが、経営面では不安がある。
	観光名所（従業員）	・冬季観光の主力である外国人観光客の団体入込が落ち込んでいいる。特に、中国人については、春節をきっかけに入込が増えることを期待していたが、既にキャンセルが生じており、この先しばらくは新型コロナウイルスの影響が続く。今後のプラス要素として見込んでいた中国人観光客が回復するまで、しばらく時間が掛かるとみられるため、今後の景気はやや悪くなる。
	美容室（経営者）	・人手不足であるため、今後の景気はやや悪くなる。
	その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	・今後の新型コロナウイルスの影響が心配される。
	住宅販売会社（経営者）	・今後、消費税増税の影響が表面化してくる。また、新型コロナウイルスの影響で、客が外出を控えるといった対応が増えてくることになれば、モデルルームへの来訪者数が減少することも考えられる。営業上のマイナス要因が多く、今後の景気は下向きとなる。
×	商店街（代表者）	・オフシーズンであることに加えて、新型コロナウイルスの影響で今後の来客数の減少が懸念される。また、出店しているECモールにおける送料問題で赤字販売を強要される上、購入数の減少も懸念される。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの影響が甚大になることが懸念される。本格的な影響は2月以降になるが、中国からの観光客は外国人観光客全体の30%を占めるため、中国人観光客がいなくなると、売上の30%が減少することになる。また、中国人は客単価も高いため、観光にかかわる全ての業種に影響が及ぶ。感染が他国に広がれば、外国人観光客全体が激減する事態となるため、早い段階での終息が望まれるが、最悪の場合、長期の低迷は否めない。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・当店は観光地に立地しており、外国人観光客、特に中国人観光客の影響が大きい。新型コロナウイルスの影響が長引けば、会社の存続そのものが危ぶまれると心配している。
×	一般小売店〔土産〕（経営者）	・新型コロナウイルスが世界中にまん延する可能性が出ており、人が活発に移動しなくなることで、今後の旅行需要の落ち込みが懸念される。これから外国人観光客にとっての冬の観光シーズン本番を迎えるため、新型コロナウイルスが終息しなければ、景気は悪化することになる。
×	コンビニ（エリア担当）	・少雪の影響で除雪業者に影響が生じていることがマイナス要因となる。また、新型コロナウイルスの影響で観光客が減少することも懸念される。
×	衣料品専門店（店長）	・新型コロナウイルスの影響で、中国で生産している主力オーダ製品の納期が大幅に遅れており、新生活対応商材の受注キャンセルが相次いでいる。新規販売もできない状況であり、今後の景気は悪くなる。
×	高級レストラン（経営者）	・消費税増税の影響で消費者の買い控えがみられるなか、新型コロナウイルスが流行し始めたことで、外に出歩かない人が増えることになり、今後の売上の伸びが見込めない。景気はますます悪くなる。
×	スナック（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で観光客が一段と減っていることから、飲食店の客も減ることが懸念される。
×	観光型ホテル（経営者）	・韓国との外交問題、米中の貿易摩擦、新型コロナウイルスの流行など、観光産業にとっての悪材料が多く、いずれも解決の見通しが立っていないことから、今後の景気は悪化する。

	x	観光型ホテル（スタッフ）	・マイナス基調にある韓国マーケットをばん回すべく、中国本土向けにセールスを行ってきたが、新型コロナウイルスの影響で、景気が一層悪化することが懸念される。
	x	タクシー運転手	・新型コロナウイルスの影響で、中国人による2月初旬までの観光予約が全てキャンセルとなった。乗務員不足でタクシーの稼働台数が減っているため、この影響が長引くと、より大きなマイナス要素となり、大幅な減収につながるようになる。
	x	タクシー運転手	・東京オリンピックの効果は地域限定と見込まれるなど、景気好転の要因が見当たらない。また、新型コロナウイルスによる悪影響は致命的である。
企業 動向 関連 (北海道)		-	-
		金属製品製造業（従業員）	・消費税増税を前にした駆け込み需要の影響が余りなかったため、今後の景気は多少良くなる。また、主力銀行の予想で住宅投資の動向が前年比プラス5となっていることもプラスである。
		建設業（経営者）	・公共工事の発注が土木工事を中心に進むことになる。また、融雪期を迎えて、建築民間工事の引き合いが増えることも見込まれる。新規受注分の施工はゴールデンウィーク明けになるが、マインド面が上向くことになる。
		建設業（従業員）	・公共事業の発注時期を迎えることに加えて、日韓の外交問題や新型コロナウイルスによる観光客の激減に伴う補正予算が執行されることで、建設事業の更なる増大が期待される。
		建設業（役員）	・民間建築工事は年明けから次年度繰越しの新規着工が複数の現場で始まっており、フル稼働状態が続く。公共土木工事は、今後、来年度予算成立後の新規受注が期待できる。
		食料品製造業（従業員）	・景気が良くなるような案件が見当たらない。ただ、これ以上、景気が悪くなるような要素も特に見当たらない。
		食料品製造業（従業員）	・消費税増税の影響により、軽減税率の対象である食料品についても、消費者の財布のひもが固くなっているため、1月と同様に、景気は悪いまま推移する。
		輸送業（支店長）	・今後2～3か月のうちに荷動きが良くなるようなプロジェクト、材料が見当たらない。
		通信業（営業担当）	・需要、案件数が安定的に推移しているのに対して、国際情勢や新型コロナウイルスの影響など、景気に対する不安要素も混在していることから、今後の景況感は総じて横ばいで推移する。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	・工事関係は順調に推移するとみられるが、新型コロナウイルスの影響により、観光関連の需要が冷え込むことが懸念される。
		家具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスによる影響が大きくなることが懸念される。間接的に、様々な経済的影響が出てくるとみられる。
		金融業（従業員）	・これまで道内景気をけん引してきた外国人観光客は、韓国人観光客の激減に加えて、好調だった中国人観光客も新型コロナウイルスの影響から、当面の減少が不可避となっており、景気の大きな落ち込みが懸念される。また、少雪の影響が観光施設や排雪を受託している建設業者にみられ始めており、今後の道内景気はやや悪くなる。
		広告代理店（従業員）	・新型コロナウイルスの影響で中国人観光客の来道が制限されることになり、今後、観光産業を含めた各分野に大きな影響が出ることになる。
		司法書士	・主要取引先である建設業や不動産業では、冬期間を終えて、動きが徐々に活発になってくるとみられるが、水準としては低いまま変わらずに推移する。また、新型コロナウイルスの影響で観光関連の取引先に影響が出てくる懸念があるため、今後の景気はやや悪くなる。
		司法書士	・不動産、特に土地の売買が少ないため、春先における建物新築工事の着工件数の増加が期待できず、景気が上向くことにはならない。
		司法書士	・新型コロナウイルスの影響により、全世界の経済にマイナスの影響が生じることになる。旅行の取りやめなどにより、ホテルなどの宿泊施設に多くのキャンセルが発生している状況から、景気回復感ゼロである。また、消費低迷の影響が続いていることもあり、今後の景況感ははやや悪くなる。
	その他サービス業〔ソフトウェア開発〕（経営者）	・自治体や大手企業のIT投資について、様子見の動きがみられる。大型の来年度計画などが全く聞こえてこないため、今後の景気はやや悪くなる。	

		<p>その他サービス業 [建設機械リース] (支店長)</p> <p>その他非製造業 [鋼材卸売] (従業員)</p>	<p>・雪不足により除排雪業者や農作物への影響が懸念される。また、新型コロナウイルスの影響で外国人観光客が減少していることも懸念材料である。</p> <p>・建築鉄骨市場においては、東京オリンピック終了までの加工量が大幅に減っており、ベース商材の販売量の落ち込みが全国的に予測されていることから、今後の景気はやや悪くなる。</p>
	x	-	-
雇用 関連 (北海道)		<p>求人情報誌製作会社 (編集者)</p> <p>求人情報誌製作会社 (編集者)</p> <p>職業安定所 (職員)</p> <p>職業安定所 (職員)</p> <p>職業安定所 (職員)</p> <p>学校 [大学] (就職担当)</p> <p>人材派遣会社 (社員)</p> <p>求人情報誌製作会社 (編集者)</p> <p>職業安定所 (職員)</p>	<p>・今年は雪解けが早くなりそうな天候であることから、経済活動に好影響が生じることを期待している。また、限定的かもしれないが、東京オリンピックに備えて多くの環境整備が進むとみられることもプラスである。</p> <p>・業界を問わず、求人意欲は高いものの、人が来ない、人がいないといった嘆きの声が多く聞かれるため、今後も景気は変わらない。</p> <p>・月間有効求人数が10か月連続で前年を上回り、月間有効求職者が8年2か月連続で前年を下回ったことから、今後も景気は変わらない。</p> <p>・人手不足分野以外においても、職種全体的に人手不足の状態が継続していることから、今後も景気は変わらない。</p> <p>・有効求人倍率が3か月連続で前年を上回り、業種全体にわたって人手不足の状況にあることから、今後も景気は変わらない。</p> <p>・新卒採用において、企業が無理な採用を行っていないため、基準に達した人材のみが採用されることになる。このため、2～3か月後も現状とほぼ変わらずに推移する。</p> <p>・労働市場は現状を維持することが見込まれる。ただ、観光、ドラッグストア、デパートなど、外国人観光客の入込を期待していた業界においては、新型コロナウイルスの影響が生じることが懸念されるため、今後の業績動向を注視している。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響を大きく受けることが懸念される。当地並びに周辺地域は、中国からの観光客が多く、大規模なキャンセルも早速出ているようであり、今後、世界的規模の流行がみられるようになれば、観光、飲食、交通機関への更なる打撃が避けられない。</p> <p>・一時的な動きかもしれないが、機械金属製造業において仕事量が減っているとの情報があるため、今後の景気はやや悪くなる。</p>
	x	<p>求人情報誌製作会社 (編集者)</p>	<p>・新型コロナウイルスの本格的な影響はこれから出てくるとみられるが、観光業や外食産業、小売業などで、求人を見合わせる客先が増えることが懸念される。</p>